

Combi 施設用ベビーカーSC61 取扱説明書・点検マニュアル

<保証書付>

保存版



本書はCombi 施設用ベビーカーSC61を安全に、また快適にご利用いただくために必要な内容が記載されています。ご使用前によくお読みの上、正しくご使用・点検してください。また、本書は大切に保管してください。

S 安全基準A型
(1ヵ月～48ヵ月まで)

コンビウイズ株式会社

目次

■ 取扱説明書	1～13ページ	■ 部品交換手順書	21～26ページ
1 製品の用途	1ページ	シートベルトの取り付けかた	21～22ページ
2 安全にお使いいただくために	1ページ	ガードカバーのはずしかた／取り付けかた	22ページ
3 施設のかたへのお願い	1～2ページ	着脱シートのはずしかた／取り付けかた	23ページ
4 製品仕様	3ページ	カゴのはずしかた／取り付けかた	24ページ
5 各部のなまえ	3ページ	幌のはずしかた／取り付けかた	24ページ
6 ご使用方法	4～13ページ	前輪キャスターの交換手順	25ページ
		後輪の交換手順	26ページ
■ 点検マニュアル	14～20ページ	■ 保証書	27ページ
1 日常点検	14～16ページ	SGマークの被害者救済制度	27ページ
日常点検チェックシート	17～18ページ		
2 定期点検	18ページ		
定期点検チェックシート	19～20ページ		

※本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。



Combi 施設用ベビーカーSC61 取扱説明書

1 製品の用途


- Combi 施設用ベビーカー SC61 (以下本製品)はお子さまを座らせ、買い物などに使用するための1人乗り乳母車(ベビーカー)です。

2 安全にお使いいただくために


- ここに示した注意事項は、取り扱いを誤るとお子さまや操作しているかたへ危害や物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分し表示しています。ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

 警告	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

3 施設のかたへのお願い

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●製品を改造しないでください。 本来の強度が保てず、事故につながるおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●製品を安全に使用していただくために、日常点検と6ヵ月ごとの定期点検をお願いします。 点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●故障した製品は放置しないでください。 誤って使用したり、お子さまが遊んだりすると、ケガや重大事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●目的以外の用途でのご使用はおやめください。

点検方法は、本書14ページの「点検マニュアル」をご確認ください。

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●屋外や駐車場に放置しないでください。 故障や車や人への衝突などの事故につながるおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●雨ざらしにしないでください。 錆や汚れの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●故障した製品はご使用しないでください。事故につながるおそれがあります。 故障を発見したときはただちに使用中止の表示などでご使用できないようにし、サービスセンターまでご連絡・修理依頼を行ってください。

本製品はお子さまを寝かせる、もしくは座らせて使用するものです。設置後は定期的に清掃し清潔に保ってください。

点検・部品交換後も作業の汚れが残らないように清掃してください。

お手入れ方法

車体、着脱シート、ガードカバー、カゴ、幌の清掃

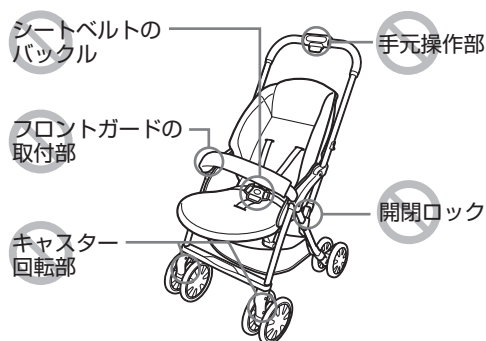
- 清潔な布で乾ぶきしてください。汚れが落ちにくい場合は、水あるいはぬるま湯をふくませてしぼった布でふき取り、そのあと乾ぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めたものでふいたあと、さらに水ぶき、乾ぶきで洗剤分、水分の残らないようにふいてください。
- 着脱シートは、取りはずしてお手入れできます。(取りはずしかたは、23ページ参照)

注意

- 中性洗剤以外の洗剤を使用することはおやめください。(部品の劣化や退色、またヒビ割れが発生し破損することがあります。)
- 本品は縫製部含めて洗濯はできません。洗濯は破損、変色、劣化の原因となります。

注油について

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油(シリコーン系)を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえて機能を低下させます。
- 右記に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



注意

- お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどに潤滑油が付着しないようご注意ください。

保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。

屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

注意

- 火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカーを重ねたり横にしたり、圧力が加わる状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

4 製品仕様

製品名	Combi 施設用ベビーカー SC61	質量	5.9kg
品番 / 色	SC61G : グレー SC61R : レッド	主要材質	本体 : アルミニウム、スチール、ポリプロピレン 布地 : ポリエステル シート地 : 合成皮革
対象月齢	生後1ヵ月～4才(48ヵ月)まで	オプション	Combi 施設用ベビーカー SC61 専用幌 (品番 : SC61H 質量 : 0.4kg)
体重限度	18kg 以下		
外形寸法	使用時 / W525 × D756 × H1039mm 収納時 / W525 × D419 × H984mm	耐用年数	3年 耐用年数を経過しましたら、お取り替えをお願いいたします。

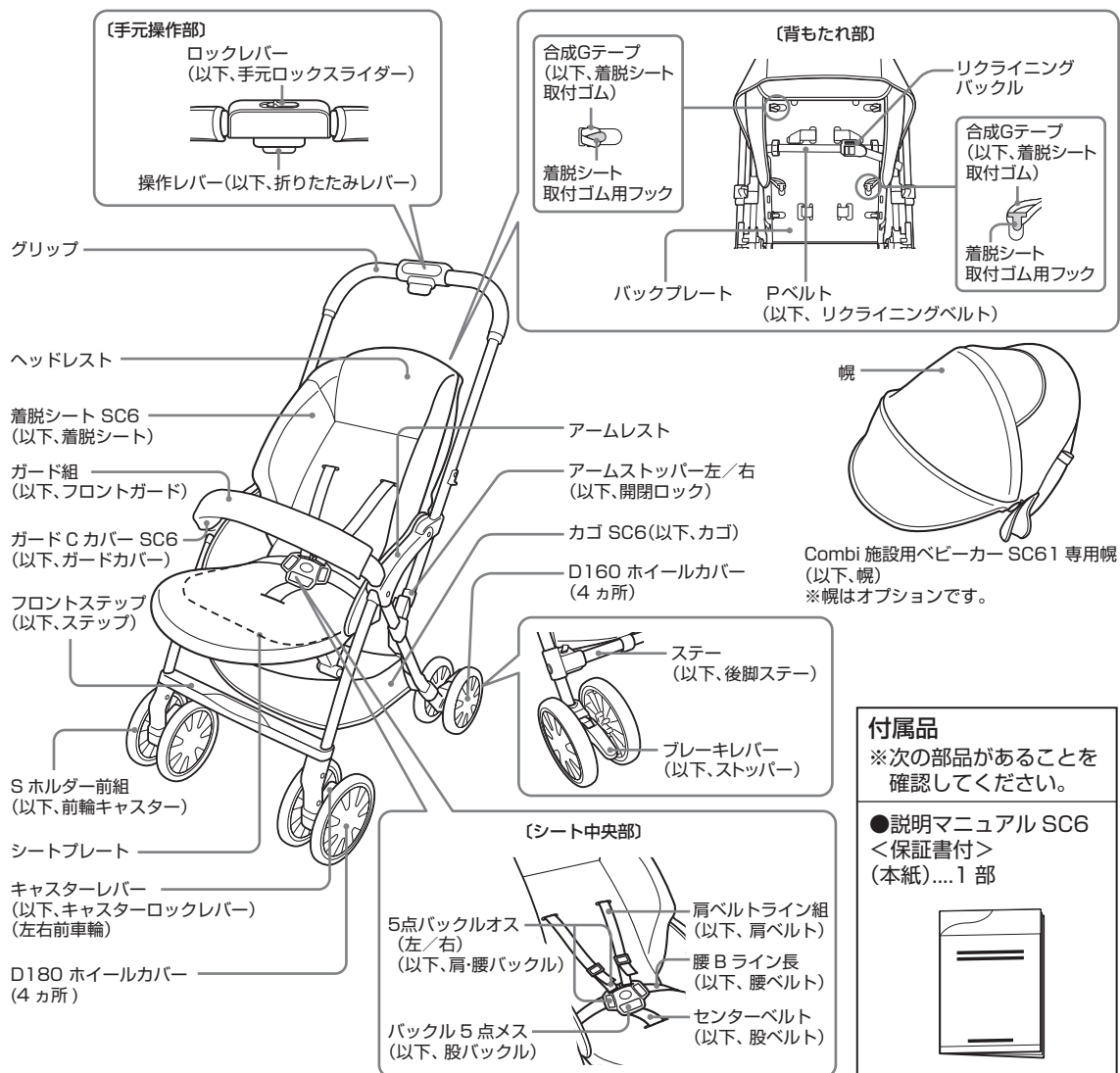
※生後1ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヵ月を経過したお子さまを示します。

※製品の仕様・価格は改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

※製品を廃棄される場合は、廃棄物処理法に基づき適正な廃棄をお願いいたします。

※製品の外形寸法および質量は参考値となります。

5 各部のなまえ



6 ご使用方法

- 下記の警告内容に従って正しくご使用ください。



警告

取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちるおそれがあります。

- お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、シートベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- お子さまは月齢が高くなるにつれ、周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトをはずすおそれがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。
- すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。肩・腰バックルを股バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。



- お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。



お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。



- 開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。（7ページ「ベビーカーの開きかた」の警告内の図参照）

ベビーカーが動き出したり、転倒するおそれがあります。

- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。



- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。



- ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。





警告

取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまがケガをするおそれがあります。

- お子さま自身での乗り降りは、転倒や指はさみなどの危険がありますのでおやめください。



- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時は、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- 幌を開閉するときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまの足が車輪や地面につく場合は使用しないでください。足をケガするおそれがあります。
- 着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足などをはさむおそれがあります。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

- カゴ以外のところに荷物を乗せたりつるしたりしないでください。荷物はカゴに入れるようにしてください。(別売りの幌をつけた場合、幌の上に荷物を乗せないでください。)



- 排水溝のふた(グレーチング)や踏切など、溝がある路面を通るときは、溝に車輪をとられたりはさまったりするおそれがあります。十分注意して進んでください。



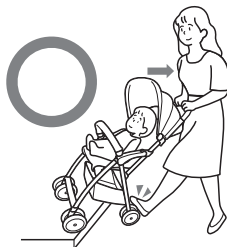
- 車輪が溝にはさまったときは、はさまった方のフレーム(パイプ)とハンドルを持って、車輪を引き上げてください。その際、お子さまや荷物が乗っている状態では、ベビーカー全体を持ち上げないでください。



- ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外ところに乗せないでください。



- 無理な段差乗り越えは、前輪に衝撃が加わり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。また、破損・故障の原因となります。縁石などの段差を乗り越える場合は、わずかな段差でも速度を落とし、後輪に足をかけてハンドルを手前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。



- お子さまを乗せ降ろしする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。
- ホームと電車との段差やすき間に車輪がはさまったり、引っかかったりしてベビーカーが転倒するおそれがあります。十分注意して乗降してください。
- 階段、オートスロープ、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。



注意

取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

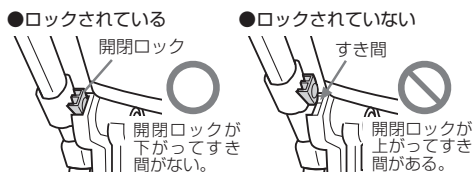
- **お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。**
目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- **お子さまにベビーカーを操作させないでください。**
転倒や思わぬ事故につながります。
- **フロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。**
破損のおそれがあります。
- **フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。**
お子さまが抜け出したり、落下するおそれがあります。
- **おすわりができないお子さまの場合は、背もたれを倒した状態でご使用ください。(9ページ参照)**
- **背もたれを1番倒した状態でもお子さまが窮屈な場合は、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この使用法は寄りかかっておすわりができるお子さまに限ります。**
- **お子さまの頭が頭部の壁面に当たる場合は、背もたれを1番倒した状態で使用しないでください。**
- **ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。**
破損、故障の原因となります。
- **ベビーカーを押すときは走らないでください。**
走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- **ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けしないでください。**
ベビーカーの破損の原因となります。
- **カゴには10kg以上の荷物を入れないでください。**
破損の原因となります。
- **雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。**
ベビーカーだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。
- **風の強いときには使用しないでください。**
勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- **雷のときは使用しないでください。**
落雷のおそれがあります。
- **夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。**
- **長時間の使用禁止**
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- **鉄道やバスの中での使用について**
本製品を鉄道やバスの中で使用するときは、カーブやブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、お子さまに肩と腰のシートベルトを装着の上、十分注意してご使用ください。また、事前に各鉄道、バス事業者が示すベビーカー利用の可否、方法をご確認ください。ご利用条件を満たさないときは、ご使用になれません。なお、ご利用条件を満たす場合でも、鉄道やバスの中でベビーカーを使用した際の安全を保証するものではありません。
- **坂道の走行では、不安定なため転倒するおそれがあります。速度を落とし、十分注意して走行してください。**
- **肩ベルトの色が摩擦によりお子さまの薄い色(白、ベージュなど)の衣服に、色移りすることがありますのでご注意ください。**

ベビーカーの開きかた



- ベビーカーを開くときには、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ベビーカーを開いた後、左右の開閉ロックが下がってすき間がないことを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。
- 手元ロックスライダーが元の位置に戻り、折りたたみがロックされていることを確認してください。

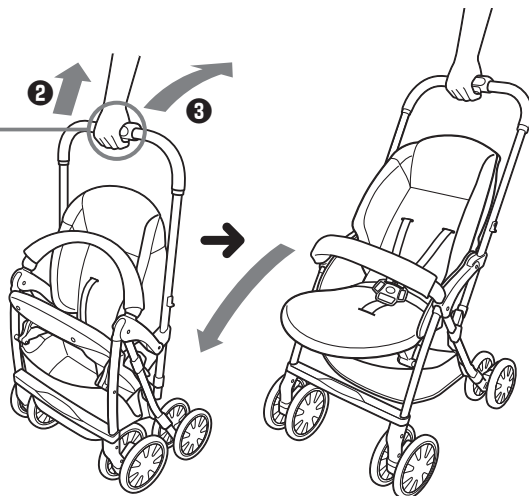
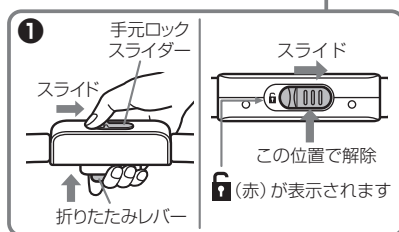
※ 下記のイラストはシートの背もたれ下部です。



- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーカーを持ち上げた状態で、折りたたみレバーを握りロックを解除すると、破損のおそれがあります。
- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。

- 1 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドさせながら折りたたみレバーを握り、
- 2 ハンドルを持ち上げ、
- 3 そのままハンドルを手前に倒す。

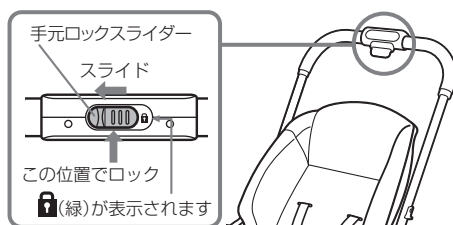
ベビーカーが完全に開きます。



ベビーカーを地面につけた状態から折りたたみレバーを握り操作してください。ベビーカーを持ち上げた状態ではベビーカーを開くことができません。

- 2 手元ロックスライダーから手を離し、折りたたみをロックする。

折りたたみレバーが自動でロックされます。ロックされていることを必ず確認してください。



ベビーカーの折りたたみかた



警告

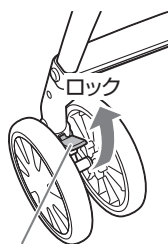
ベビーカーを折りたたむときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。



注意

- 折りたたみ後、手元ロックスライダーがロックされているか確認してください。また、折りたたみ操作以外は折りたたみレバーを握らないでください。
- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。
- 何かに引っかかっていたり、はさまれている感じが合った場合には、1度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむときは、カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- 折りたたむときは、キャスターをロックしてください。キャスターがロックされていないと折りたたんだ状態でベビーカーが倒れやすくなります。

- 1** 左右のキャスターロックレバーを上げて、ロックする。



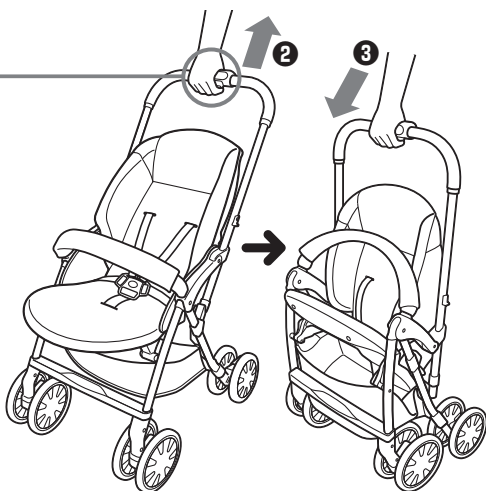
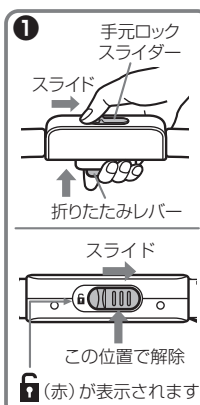
キャスターロックレバー

- 2** ① 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドさせながら折りたたみレバーを握り、

② ハンドルを引き上げ、

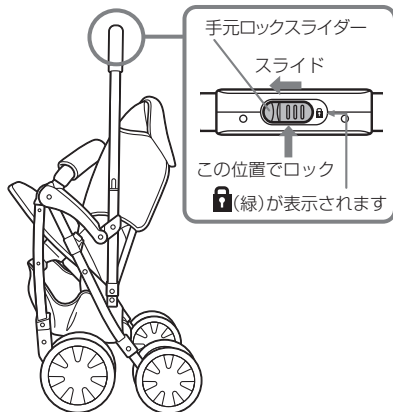
- ③ 十分引き上げたら、そのままハンドルを押し下げる。

ベビーカーが折りたたまれます。



- 3** 手元ロックスライダーから手を離し、折りたたみをロックする。

折りたたみレバーが自動でロックされます。ロックされていることを必ず確認してください。



・上記の方法で折りたたみにくい場合は、折りたたみレバーを握り、後輪を接地させたまま、前輪を持ち上げるように、車体を後ろに倒すことで折りたたむことができます。

・折りたたむとき「カチッ」とロックする音を確認してください。また、ベビーカーのハンドルを少し持ち上げて確実にロックされていることを確認してください。

リクライニングの使いかた

警告

- リクライニング操作時は、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

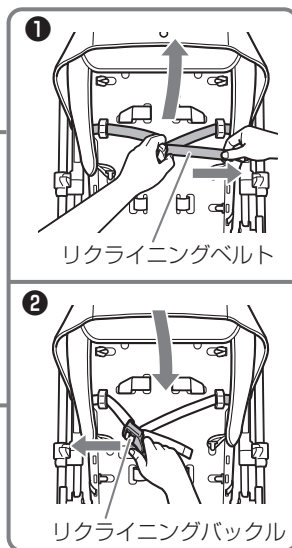
注意

- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- おすわりができないお子さまの場合は、最も倒した状態から中間位置まで起こした状態でご使用ください。
- 背もたれを1番倒した状態でもお子さまが窮屈な場合は、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この使用方は寄りかかっておすわりができるお子さまに限ります。
- お子さまの頭が頭部の壁面に当たる場合は、背もたれを1番倒した状態で使用しないでください。
- ひとりでおすわりができるお子さまでヘッドレストの位置に頭がくる場合は、背もたれを倒したときに無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起きあがらない位置でとめてください。

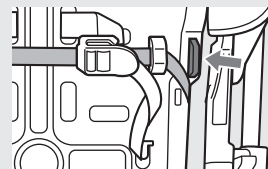
お子さまを乗せてリクライニングを操作するときは、できるだけゆっくり静かに行ってください。

- ① 背もたれを起こすときは、お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングベルトを右に引っぱります。
- ② 背もたれを倒すときは、片方の手でお子さまの体を支え、他方の手で、リクライニングバックルを起こしながら左に移動させます。

リクライニングを倒すと、ヘッドレストが起き上がってきます。



- ・ お子さまの体重を背もたれにかけたまま、背もたれを起こさないでください。リクライニングベルトやリクライニングバックルが破損するおそれがあります。
- ・ リクライニングの動作が固い場合は、リクライニングベルトがバックプレートの矢印部分に引っかかっていないか確認してください。

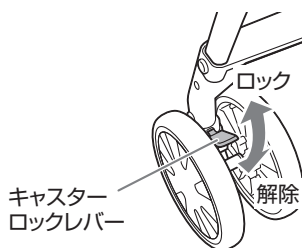


キャスターの使いかた

キャスターロックレバーを下げればロックが解除され、方向が自由に変えられます。

前輪の向きが変わり、方向転換がしやすくなります。キャスターロックレバーを上げればロックがかかります、キャスターが固定されます。

※前輪のみキャスターロックレバーがついています。



ストッパーの使いかた



警告

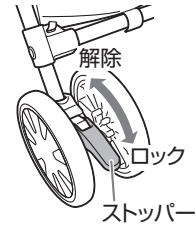
- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。



注意

- 空車であってもベビーカーから離れるときは、必ず左右ともストッパーをかけてください。ストッパーが不完全な場合、動き出すことがあります。
- ストッパーをかけたまま、走行しないでください。故障のおそれがあります。

- ① 車体後側のストッパーを押し下げてロックする。
- ② ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。



フロントガードの使いかた



警告

- フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。



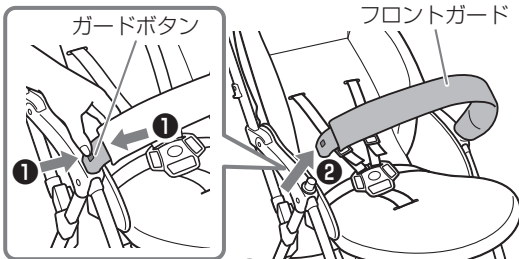
注意

- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- ベビーカーを開いた状態で、フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。

お子さまの乗せ降ろし時にフロントガードを開くと、よりスムーズに乗せ降ろしができます。

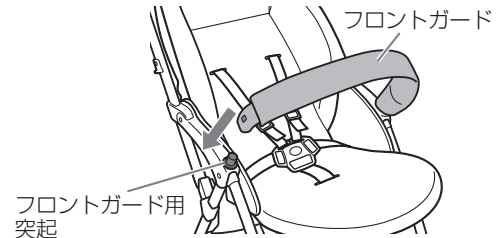
フロントガードを開くとき

- ① 2つのガードボタンを矢印方向に押しながら、
- ② フロントガードを引き抜く。



フロントガードを閉じるとき

フロントガード用突起にフロントガード差し込み部を「カチッ」と音がするまで差し込む。



ベビーカーを折りたたみ移動させるときは、フロントガードを持って運ぶことができます。

シートベルト(股・腰・肩ベルト)の使いかた



- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。シートベルトが長すぎるとお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- 肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒す場合、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。操作後は肩ベルトを適切な長さに調節してください。

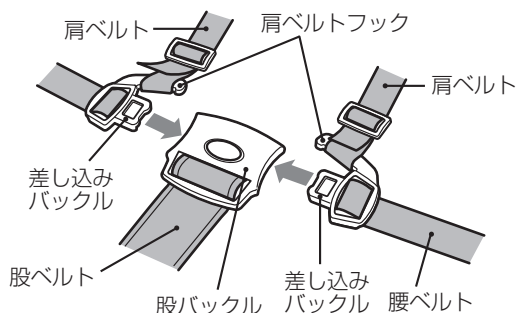
シートベルトとは、股ベルトと腰ベルト、肩ベルトの総称です。

シートベルトの締めかた

- 1 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかけます。
- 2 股ベルトを引き出し、股バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認します。
- 3 肩ベルト、腰ベルトを引っばって、はずれないことを確認します。

お子さまへの装着のしかた

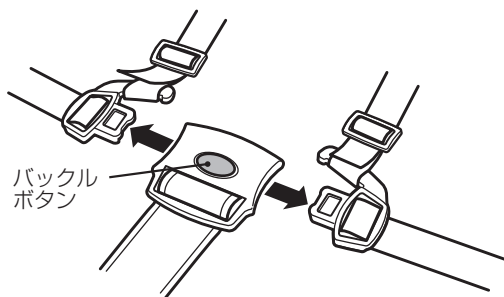
- 1 お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせませます。
- 2 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかけ、股バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込みます。



シートベルトのはずしかた

股ベルトのバックルボタンを押すと腰ベルトがはずれます。

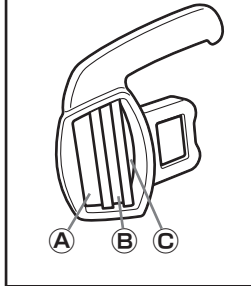
- 長さ調節時にバックルをはずしたときは、右図にしたがって確実に取り付けてください。取り付けかたが不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。



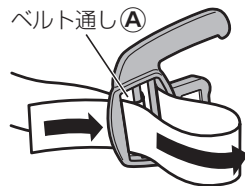
シートベルトの調節のしかた

腰ベルトの長さ調節

差し込みバックルのベルト通し(A)(B)(C)



1 バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通し①からはずします。



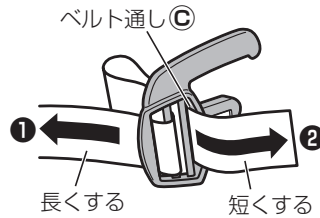
2 腰ベルトの長さを調節します。

長くする場合

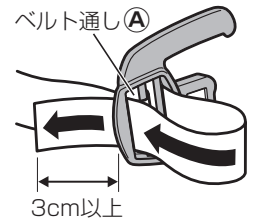
①の矢印の方向に引く

短くする場合

②の矢印の方向に引く



3 バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通し①から裏側に通します。(ベルト通し①には腰ベルトが二重に通ります。)



こんなときは？

ベルトの調節の目安がわからない

→お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのすき間が目安です。

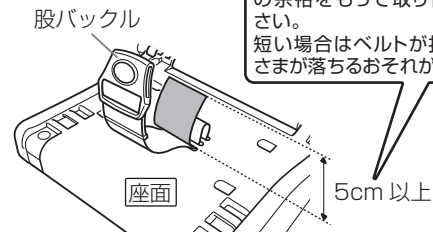


警告

- 長さを調節後、腰ベルトを強く引っ張り、腰ベルトがバックルから抜けないことを確認してから使用してください。
- 腰ベルトは、図のように先端から3cm以上の余裕をもたせてバックルを取り付けてください。短い場合は、使用中に腰ベルトがバックルから抜けて、お子さまが落ちるおそれがあります。

股ベルトの長さ調節

股ベルトの長さを調節するには、座面側の着脱シートをめくって、図のようにベルトを調節してください。



警告

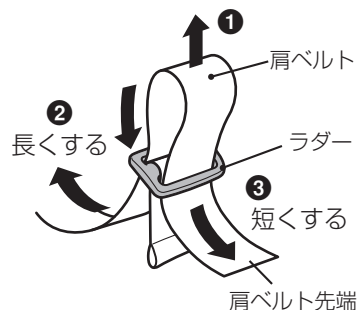
股ベルトは先端まで5cm以上の余裕をもって取り付けてください。短い場合はベルトが抜けてお子さまが落ちるおそれがあります。

肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さを調節するには、はじめに①調節したい分の長さを引き出します。

長くするときには、②の方向に引っ張り、短くするときには、③の方向に引っ張ります。

※ラダーは肩ベルトから、取りはずしできません。



幌の使いかた

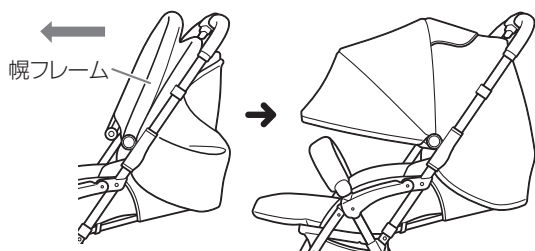
※幌はオプションです。

⚠ 注意

- ベビーカーを折りたたむときは、必ず幌を折りたたんでからにしてください。幌を開いたまま無理にベビーカーを折りたたもうとすると破損の原因になります。
- 幌を開閉するときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をさはむおそれがあります。

使用するとき

両手で幌フレームを持ち、幌を前に広げる。



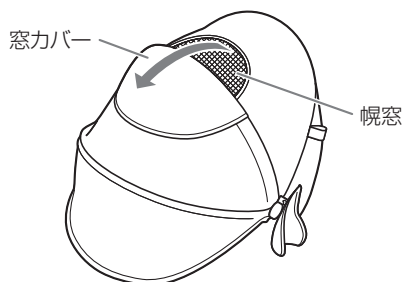
収納するとき

使用するときの手順を逆に行って、幌を後側にまとめる。

- ベビーカーを折りたたむときは、必ず幌を後側にまとめてください。

幌窓の開きかた

窓カバーを開けると、お子さまの様子を見ることが出来ます。



足乗せバーの使いかた

足乗せバーは、お子さまが寝たときに、楽な姿勢にできます。

⚠ 注意

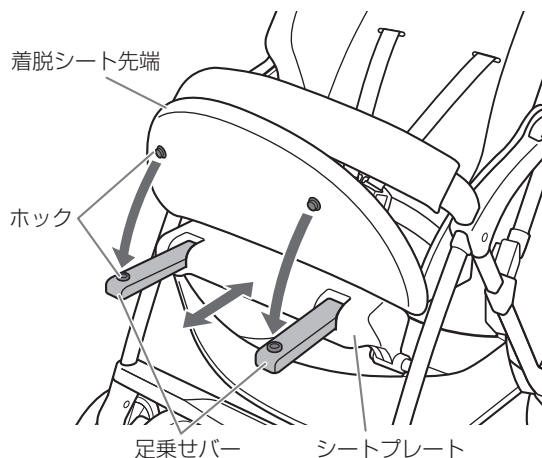
- 使用するときには、必ずホックをとめてください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- 足乗せバーは無理に引っばらないでください。故障や破損の原因になります。

使用するとき

- ① 着脱シート先端を持ち上げ、シートプレートの座面から足乗せバーを引き出す。
- ② 着脱シートをのせ、ホックをとめる。

収納するとき

着脱シートのホックをはずし、足乗せバーをシートプレートの中に押し込む。



Combi 施設用ベビーカーSC61 点検マニュアル

『Combi施設用ベビーカー SC61』を快適に、また安全にご使用いただくために必要な「日常点検」「定期点検」の内容を記載したマニュアルです。

本書の内容に従い、毎日もしくは週ごとの「日常点検」、6ヵ月ごとの「定期点検」を必ず正しく実施してください。



警告

製品を安全に使用していただくために、日常点検と6ヵ月ごとの定期点検をお願いします。点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。

日常点検

動作・目視・触感で行います。点検で異常があった場合、項目によっては工具を使用して点検を行います。

毎日または週ごと

定期点検

工具を使用して6ヵ月ごとに各部位の点検を行います。

6ヵ月ごと

安全に長期間で使用いただくために、**定期点検サービス**（有料）をご用意しております。

詳しくは、サービスセンターへお問い合わせください。点検の結果、部品交換が必要な場合があります。

※補修部品の保管期間は生産終了後3年間です。

必要工具

必要工具：プラスドライバー、ボックススパナ
(No.2) (幅8mm)



1 日常点検

点検の際は日常点検(17～18ページ)の「日常点検チェックシート」をご利用ください。日常点検は、毎日もしくは週ごとに、動作、目視および触感で行う点検です。点検で異常があった場合、項目によっては工具を使用して点検を行います。

●点検時に異常を発見した場合は、ただちにご使用を中止し、不良の処置に従って適切に処置してください。不良の処置が交換および修理の場合は、必ずサービスセンターまでご連絡・修理依頼を行ってください。

A. 外観の確認

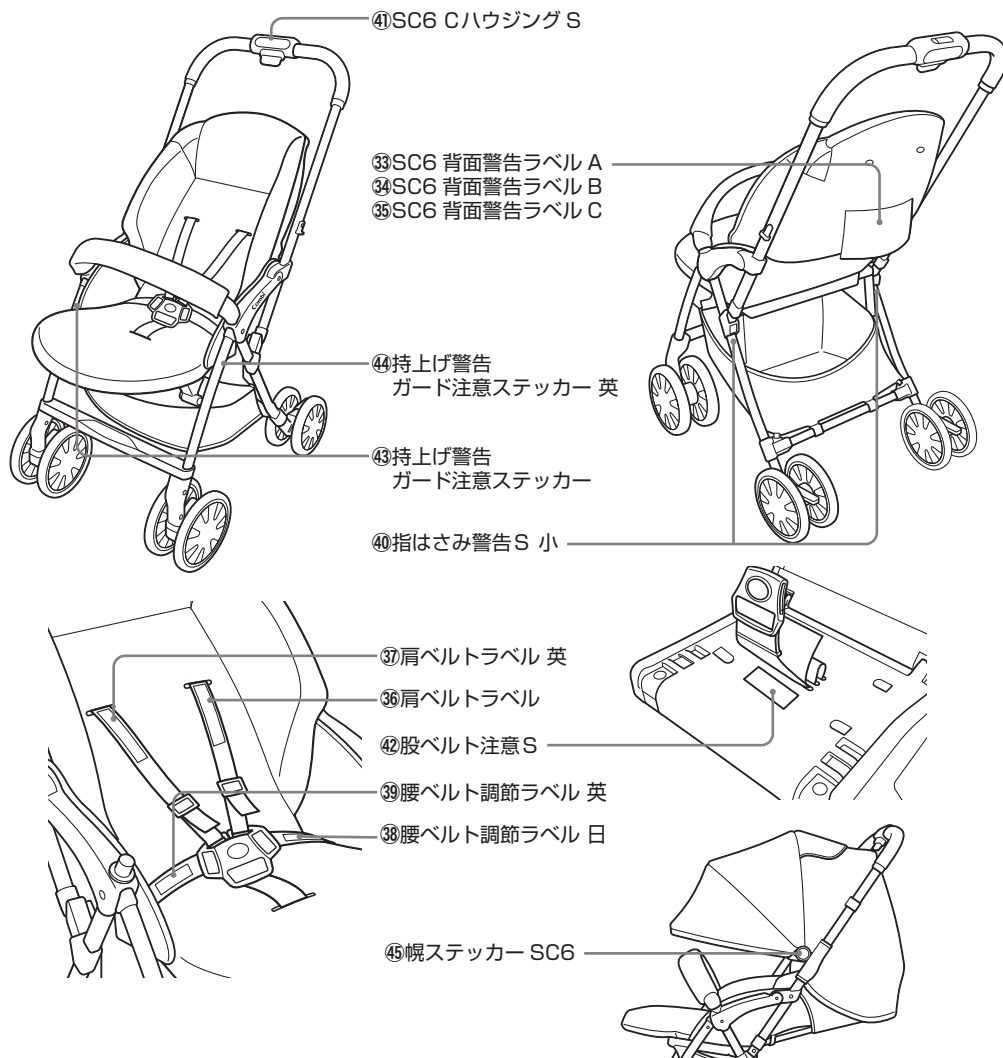
点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
① キャスターロックレバーの破損	目視・触感	破損がないこと	交換
② ストッパーの破損	目視・触感	破損がないこと	修理
③ 車輪の破損	目視・触感	破損がないこと	交換
④ ホイールカバーの破損・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	交換
⑤ フロントガードの破損	目視・触感	破損がないこと	修理
⑥ ガードカバーのやぶれ・ほつれ・紛失	目視・触感	やぶれ・ほつれ・紛失がないこと	交換
⑦ 折りたたみレバーの破損	目視・触感	破損がないこと	修理
⑧ 手元ロックスライダの破損	目視・触感	破損がないこと	修理
⑨ シートベルト(肩・腰・股)のやぶれ・ほつれ・紛失	目視・触感	やぶれ・ほつれ・紛失がないこと	交換
⑩ バックル(差し込み・股)の破損・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	交換
⑪ 着脱シートのやぶれ・ほつれ	目視・触感	やぶれ・ほつれがないこと	交換
⑫ 着脱シートの汚れ	目視	汚れのないこと	清掃
⑬ カゴのやぶれ・ほつれ	目視・触感	やぶれ・ほつれがないこと	交換
⑭ グリップの破損	目視・触感	やぶれ・ほつれがないこと	修理
⑮ 本体パイプの曲がり・破損	目視・触感	曲がり・破損がないこと	使用中止
⑯ 後脚ステアの曲がり・破損	目視・触感	曲がり・破損がないこと	使用中止
⑰ アームレストの破損	目視・触感	破損がないこと	修理
⑱ リクライニングバックルの破損	目視・触感	破損がないこと	修理
⑲ 自動引き上げベルトのやぶれ・ほつれ・はずれ	目視・触感	やぶれ・ほつれ・はずれがないこと	修理
⑳ リクライニングベルトのやぶれ・ほつれ	目視・触感	やぶれ・ほつれがないこと	修理
㉑ ステップの破損	目視・触感	破損がないこと	修理

C. ステッカー・ラベルの確認

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
③③ SC6 背面警告ラベル A	目視	やぶれ、ほつれなく 書かれている内容が読めること	交換 ※1
③④ SC6 背面警告ラベル B			
③⑤ SC6 背面警告ラベル C			
③⑥ 肩ベルトラベル			
③⑦ 肩ベルトラベル 英			
③⑧ 腰ベルト調節ラベル 日		はがれ、やぶれなく 書かれている内容が読めること	交換
③⑨ 腰ベルト調節ラベル 英			
④⑩ 指はさみ警告S 小			
④① SC6 CハウジングS			
④② 股ベルト注意S			
④③ 持上げ警告 ガード注意ステッカー		はがれないこと	交換
④④ 持上げ警告 ガード注意ステッカー 英			
④⑤ 幌ステッカー SC6 ※2			

※1 縫製ラベルのみの部品交換は出来ません。

※2 幌付きの場合



日常点検チェックシート

毎日または週ごと

このページをコピーして点検にご利用ください。
記入した後は大切に保管してください。

点検項目	点検方法	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
		//	//	//	//	//	//
外観の確認							
①キャスターロックレバーの破損	目視・触感						
②ストッパーの破損	目視・触感						
③車輪の破損	目視・触感						
④ホイールカバーの破損・紛失	目視・触感						
⑤フロントガードの破損	目視・触感						
⑥ガードカバーのやぶれ・ほつれ・紛失	目視・触感						
⑦折りたたみレバーの破損	目視・触感						
⑧手元ロックスライダの破損	目視・触感						
⑨シートベルト(肩・腰・股)のやぶれ・ほつれ・紛失	目視・触感						
⑩バックル(差し込み・股)の破損・紛失	目視・触感						
⑪着脱シートのやぶれ・ほつれ	目視・触感						
⑫着脱シートの汚れ	目視						
⑬カゴのやぶれ・ほつれ	目視・触感						
⑭グリップの破損	目視・触感						
⑮本体パイプの曲がり・破損	目視・触感						
⑯後脚ステーの曲がり・破損	目視・触感						
⑰アームレストの破損	目視・触感						
⑱リクライニングバックルの破損	目視・触感						
⑲自動引き上げベルトのやぶれ・ほつれ・はずれ	目視・触感						
⑳リクライニングベルトのやぶれ・ほつれ	目視・触感						
㉑ステップの破損	目視・触感						
動作確認							
㉒バックルのロックと解除	動作・目視・触感						
㉓キャスターロックレバーのロックと解除	動作・目視・触感						
㉔前輪キャスターの回転	動作・目視・触感						
㉕車輪の異音	動作・耳聞						
㉖ストッパーのロックと解除	動作・目視・触感						
㉗リクライニングの操作	動作・目視・触感						
㉘リクライニングのロック	動作・目視・触感						
㉙幌の動作※	動作・目視・触感						
㉚折りたたみの動作	動作・目視・触感						
㉛折りたたみレバー、手元ロックスライダの動作	動作・目視・触感						
㉜フロントガードの開閉動作	動作・目視・触感						
ステッカー・ラベルの確認							
㉝SC6背面警告ラベル A	目視						
㉞SC6背面警告ラベル B	目視						
㉟SC6背面警告ラベル C	目視						
㊱肩ベルトラベル	目視						
㊲肩ベルトラベル 英	目視						
㊳腰ベルト調節ラベル 日	目視						
㊴腰ベルト調節ラベル 英	目視						
㊵指はさみ警告 S 小	目視						
㊶SC6Cハウジング S	目視						
㊷股ベルト注意 S	目視						
㊸持上げ警告 ガード注意ステッカー	目視						
㊹持上げ警告 ガード注意ステッカー 英	目視						

点検項目	点検方法	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
ステッカー・ラベルの確認							
④ 幌ステッカーSC6 ※	目視						
	点検者						
	承認者						

※幌付きの場合

点検時に異常を発見した場合は、ただちにご使用を中止し、不良の処置に従って適切に処置してください。

不良の処置が交換および修理の場合は、必ずサービスセンターまでご連絡・修理依頼を行ってください。

2 定期点検



注意

増し締めするときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。

点検の際は19ページの「定期点検チェックシート」をご利用ください。定期点検は、6ヵ月を目安に定期的に行う点検です。

●点検時に異常を発見したら、ただちにご使用を中止し、サービスセンターまでご連絡・修理依頼を行ってください。

A. ネジおよびキャスター周りの確認

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
① 車輪	動作・目視・触感	車輪の抜けのないこと(引っぱって確認)	交換
	動作・目視・触感	摩耗・偏摩耗のないこと	交換
	動作・目視・触感	車輪のゆがみのないこと	交換
② 前輪キャスター取付ネジ	動作・目視・触感 (プラスドライバー No.2) (ボックススパナ 幅8mm)	緩みがないこと	増し締め
③ 車体全体	動作・目視・触感	ゆがみのないこと(車体を開いて確認)	修理
	動作・目視・触感	リベットの飛び出しのないこと	修理
	動作・目視・触感	車輪の浮きのないこと	修理

B. 走行確認

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
④ 車体全体	動作・目視・触感	直進するか(車体を押して確認)	修理



定期点検チェックシート

6 ヶ月ごと

このページをコピーして点検にご利用ください。
記入した後は大切に保管してください。

注意

増し締めするときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。

点検項目	点検方法	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
		／／	／／	／／	／／	／／	／／
ネジおよびキャスター周りの確認							
①車輪	動作・目視・触感						
②前輪キャスター取付ネジ	動作・目視・触感 (プラスドライバー No.2) (ボックススパナ 幅8mm)						
③車体全体	動作・目視・触感						
走行確認							
④車体全体	動作・目視・触感						
外観の確認							
①キャスターロックレバーの破損	目視・触感						
②ストッパーの破損	目視・触感						
③車輪の破損	目視・触感						
④ホイールカバールの破損・紛失	目視・触感						
⑤フロントガードの破損	目視・触感						
⑥ガードカバーのやぶれ・ほつれ・紛失	目視・触感						
⑦折りたたみレバーの破損	目視・触感						
⑧手元ロックスライダールの破損	目視・触感						
⑨シートベルト(肩・腰・股)のやぶれ・ほつれ・紛失	目視・触感						
⑩バックル(差し込み・股)の破損・紛失	目視・触感						
⑪着脱シートのやぶれ・ほつれ	目視・触感						
⑫着脱シートの汚れ	目視						
⑬カゴのやぶれ・ほつれ	目視・触感						
⑭グリップの破損	目視・触感						
⑮本体パイプの曲がり・破損	目視・触感						
⑯後脚ステーの曲がり・破損	目視・触感						
⑰アームレストの破損	目視・触感						
⑱リクライニングバックルの破損	目視・触感						
⑲自動引き上げベルトのやぶれ・ほつれ・はずれ	目視・触感						
⑳リクライニングベルトのやぶれ・ほつれ	目視・触感						
㉑ステップの破損	目視・触感						
動作確認							
㉒バックルのロックと解除	動作・目視・触感						
㉓キャスターロックレバーのロックと解除	動作・目視・触感						
㉔前輪キャスターの回転	動作・目視・触感						
㉕車輪の異音	動作・耳聞						
㉖ストッパーのロックと解除	動作・目視・触感						
㉗リクライニングの操作	動作・目視・触感						
㉘リクライニングのロック	動作・目視・触感						
㉙幌の動作※	動作・目視・触感						
㉚折りたたみの動作	動作・目視・触感						
㉛折りたたみレバー、手元ロックスライダールの動作	動作・目視・触感						
㉜フロントガードの開閉動作	動作・目視・触感						

点検項目	点検方法	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
		//	//	//	//	//	//
ステッカー・ラベルの確認							
③③SC6背面警告ラベル A	目視						
③④SC6背面警告ラベル B	目視						
③⑤SC6背面警告ラベル C	目視						
③⑥肩ベルトラベル	目視						
③⑦肩ベルトラベル 英	目視						
③⑧腰ベルト調節ラベル 日	目視						
③⑨腰ベルト調節ラベル 英	目視						
④⑩指はさみ警告S 小	目視						
④⑪SC6CハウジングS	目視						
④⑫股ベルト注意S	目視						
④⑬持上げ警告 ガード注意ステッカー	目視						
④⑭持上げ警告 ガード注意ステッカー 英	目視						
④⑮幌ステッカーSC6 ※	目視						
点検者							
承認者							

※幌付きの場合

点検時に異常を発見した場合は、ただちにご使用を中止し、不良の処置に従って適切に処置してください。
不良の処置が交換および修理の場合は、必ずサービスセンターまでご連絡・修理依頼を行ってください。

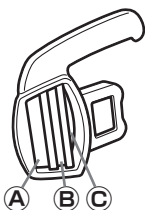
Combi 施設用ベビーカーSC61 部品交換手順書

日常点検や定期点検などで異常を発見し、新しい部品と交換する場合は、この交換手順書をよくお読みの上、正しく交換してください。部品交換作業は弊社でも有料にて承っております。詳しくは、サービスセンターへお問い合わせください。

シートベルトの取り付けかた

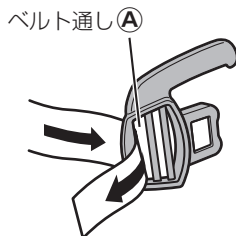
腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた

差し込みバックルの
ベルト通し(A)(B)(C)

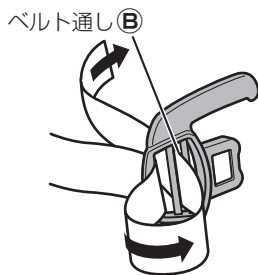


- 差し込みバックルの取り付けかたが、不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
- 腰ベルトをバックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。
- 部品交換後は日常点検（17～18ページ）の内容に従い、必ず点検してください。

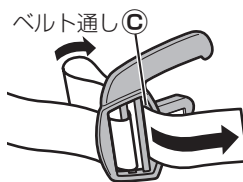
1 バックルのベルト通し(A)に腰ベルトを通します。このとき、腰ベルトはバックルの裏側から表側に向けます。



2 バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通し(B)から裏側に通します。



3 バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通し(C)から表側に通します。



4 バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通し(A)から裏側に通します。(ベルト通し(A)には腰ベルトが2重に通ります。)



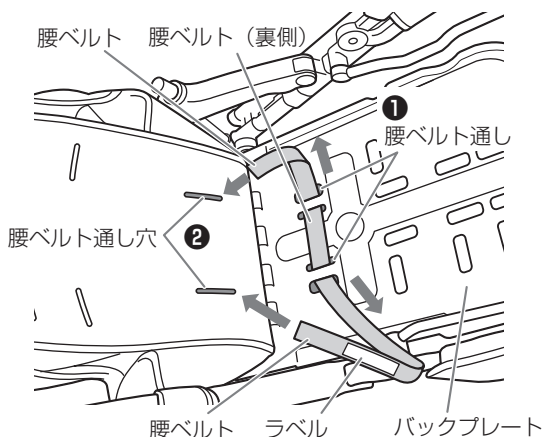
- 長さを調節後、腰ベルトを強く引っ張り、腰ベルトがバックルから抜けないことを確認してから使用してください。
- 腰ベルトは、図のように先端から3cm以上の余裕をもたせてバックルを取り付けてください。短い場合は、使用中に腰ベルトがバックルから抜けて、お子さまが落ちるおそれがあります。

腰ベルトの取り付けかた

1 腰ベルトの裏側を上にして、バックプレートの腰ベルト通し(2カ所)にベルトを図のように通す。

2 着脱シートの腰ベルト通し穴に通して、取り付ける。

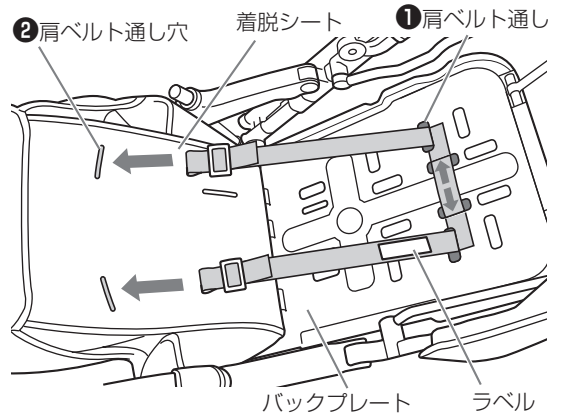
※ラベルのある側が表側です。



肩ベルトの取り付けかた

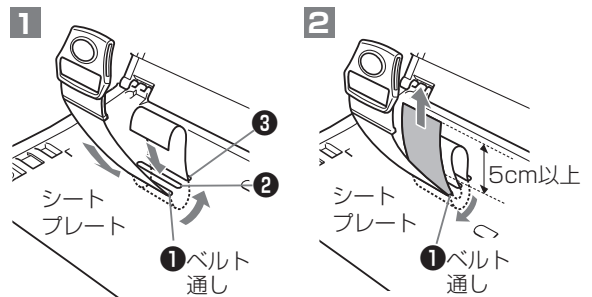
- ① 肩ベルトは、バックプレート側の上から2段目の肩ベルト通しに図のように通す。
- ② 着脱シート側の肩ベルト通し穴に通して、取り付ける。

肩ベルトは、ラベル側を表にして使用してください。



股ベルトの取り付けかた

- ① シートプレートの表側から、股ベルトの先端を①ベルト通しに通し、シートプレートの裏側に入れます。ベルト先端を③ベルト通しから表側に出し、②ベルト通しに通して裏側に入れます。
- ② ベルト先端を①ベルト通しから表側に戻します。



警告

股ベルトは先端まで5cm以上の余裕をもって取り付けてください。短い場合はベルトが抜けてお子さまが落ちるおそれがあります。

※股ベルトの長さは、ベルトの先端が5cm以上残るように調節してください。

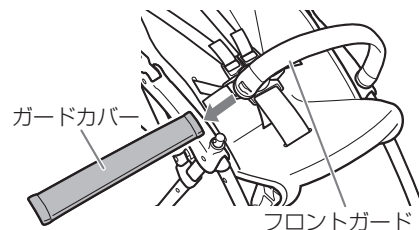
ガードカバーのはずしかた／取り付けかた

はずしかた

フロントガードを開き、ガードカバーをはずす。

取り付けかた

はずしかたの逆の手順で、取り付けてください。



着脱シートのはずしかた／取り付けかた



警告

- 着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- 部品交換後は日常点検（17～18ページ）の内容に従い、必ず点検してください。

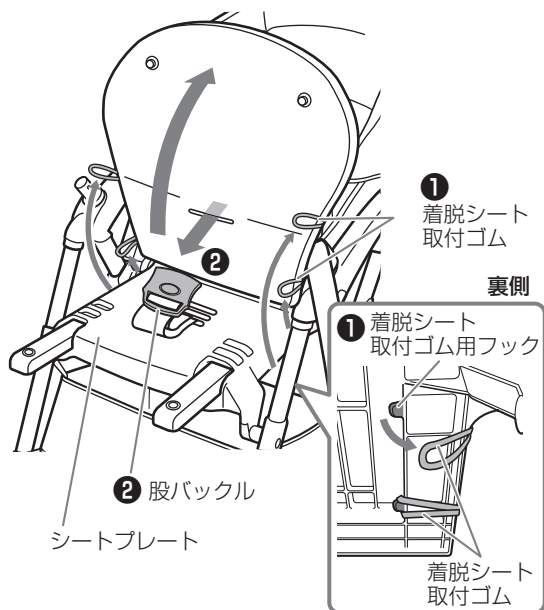


注意

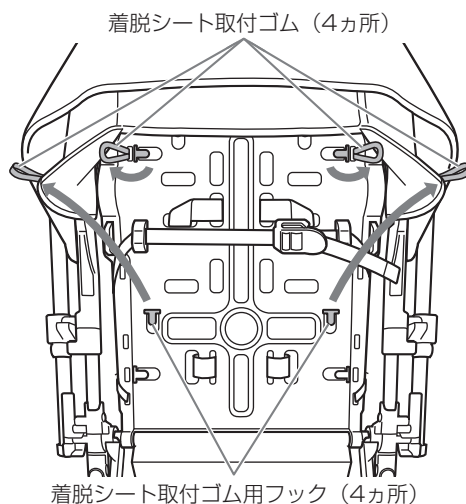
- やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- 着脱シートを取り付ける際に、ゴムベルト、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全な場合、ケガややぶれなどの原因となります。

はずしかた

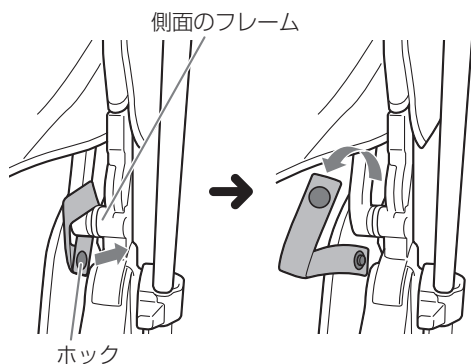
- 1** シートプレートの裏側の着脱シート取付ゴム用フックから着脱シート取付ゴム（4カ所）をはずし、**2** 着脱シートから股バックルを引き抜く。



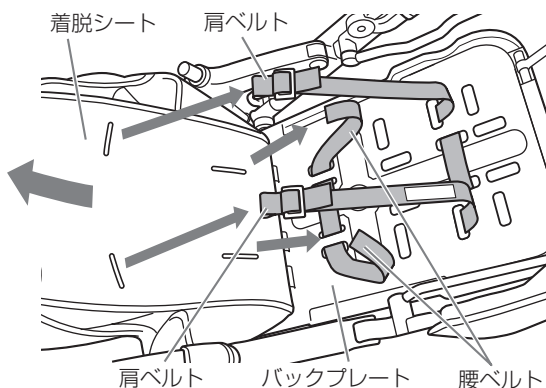
- 2** 着脱シート両側の着脱シート取付ゴム（4カ所）をバックプレートの着脱シート取付ゴム用フックからはずす。



- 3** 側面のフレームにとめてあるベルトのホック（左右）をはずす。



- 4** 腰ベルトと肩ベルトを引き抜き、着脱シートをバックプレートからはずす。



取り付けかた

はずしかたの逆の手順で、取り付けてください。

カゴのはずしかた／取り付けかた



警告

部品交換後は日常点検（17～18ページ）の内容に従い、必ず点検してください。

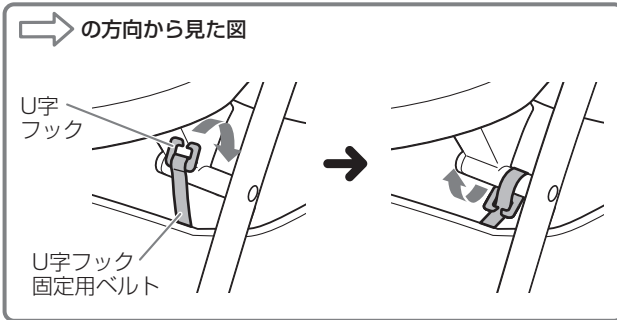


注意

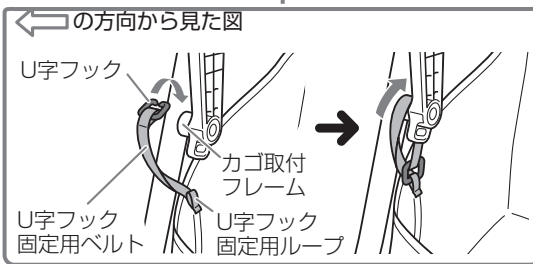
- 10kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- 角の上がったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下やカゴの変形およびやぶれの原因となります。

- ① カゴの前両端にあるU字フック固定用ベルトを、前脚中央のフレームに巻き付けてとめます。
- ② カゴ中間部にあるU字フック固定用ベルトを、カゴ内側のU字フック固定用ループにとめます。
- ③ カゴ後部の両端にある固定用ベルトを後脚ステーの左右のベルト通し穴に通してとめます。カゴ後部中央にある固定用面ファスナーを後脚ステーに巻き付けてとめます。

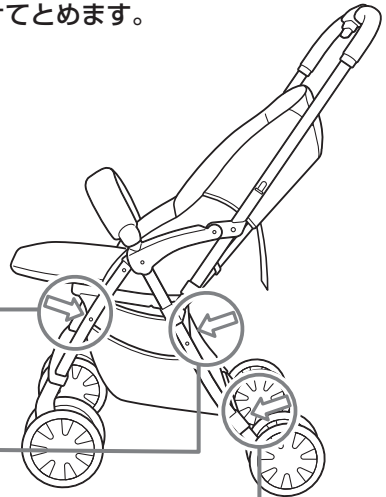
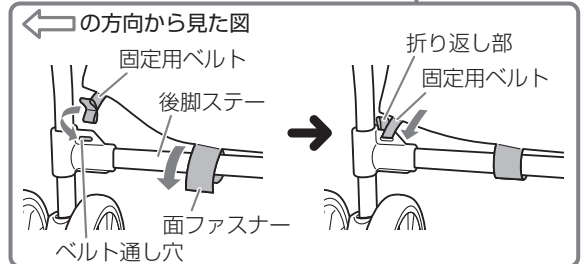
①



②



③



幌の取り付けかた／はずしかた

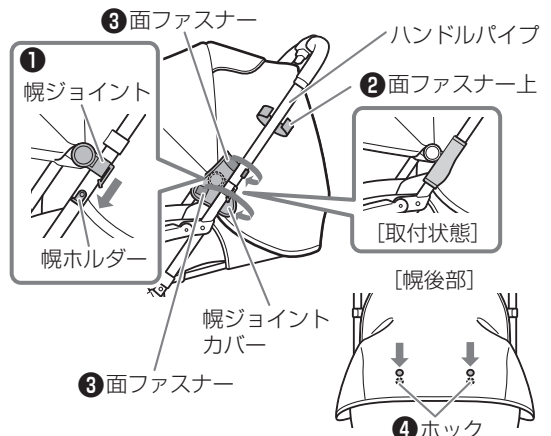
※幌はオプションです。屋外では幌付きでの使用をおすすめします。

取り付けかた

- ① 幌ジョイントを幌ホルダーにしっかり差し込み固定します。
- ② 面ファスナー上(左右各1カ所)をハンドルパイプに巻き付けてとめます。
- ③ 幌ジョイントカバーの面ファスナー(左右各2カ所)をハンドルパイプと幌ジョイントに巻き付けてとめます。
- ④ 幌後部のホック(2カ所)をとめます。

はずしかた

取り付けかたの反対の手順で、はずしてください。



前輪キャスターの交換手順



警告

- キャスターにゆるみがあると脱輪し、ケガや重大事故の原因になりますので確実に締めてください。
- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品、工具以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 部品交換後は日常点検(17～18ページ)の内容に従い、必ず点検してください。



注意

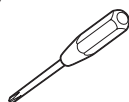
- 前輪キャスター交換は必ず左右同時に交換してください。
- 増し締めするときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。

必要工具

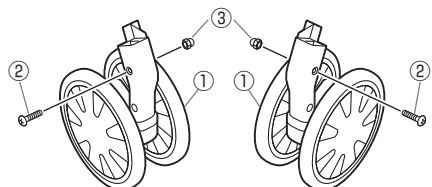
必要工具：

プラスドライバー、
(No.2)

ボックススパナ
(幅 8mm)



前輪キャスター 交換内容



- ①キャスター組(左右あります).....2
- ②ネジ.....2
- ③袋ナット.....2

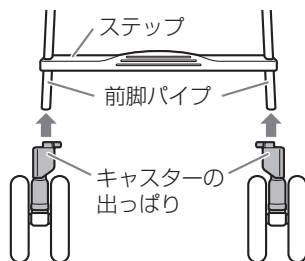
キャスターのはずしかた

- 1 キャスター組の上外側にある②のネジをプラスドライバーとボックススパナを使用しゆるめてはずします。
- 2 キャスター組を前脚パイプから抜き取ります。



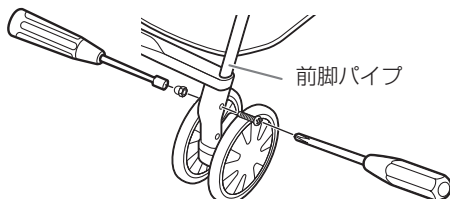
キャスターの取り付けかた

- 1 新しいキャスター組を前脚パイプに差し込みます。キャスターの出っぱりが内側にくるようにしてください。



左右・前後の向きを逆に取り付けしないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 2 ③の袋ナット(内側)をプラスドライバーとボックススパナを使用し、②のネジ(外側)を確実に締め付けます。



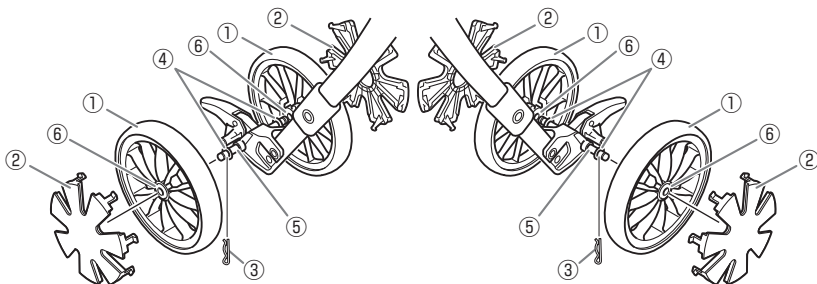
後輪の交換手順



警告

- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品、工具以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 部品交換後は日常点検(17～18ページ)の内容に従い、必ず点検してください。

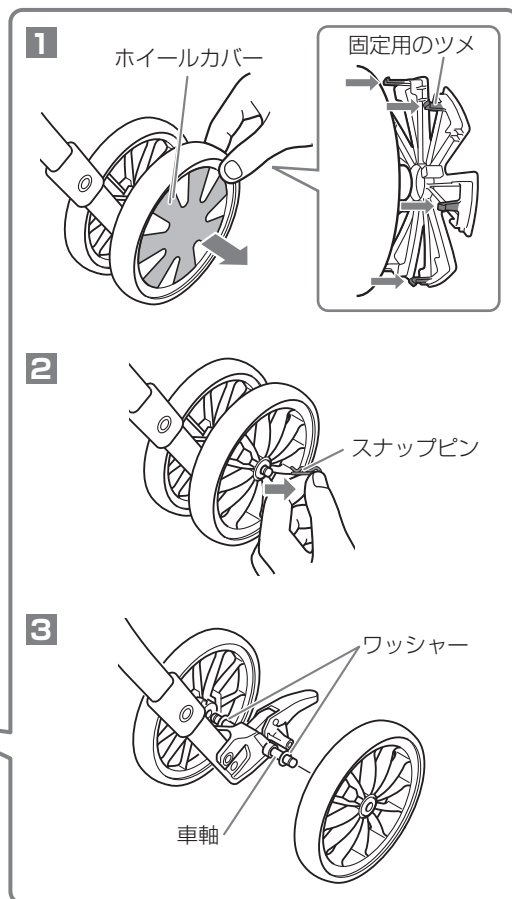
後輪 交換内容



①後輪	4
②D160 ホイールカバー	4
③スナップピン	2
④ワッシャー	4
⑤車軸	2
⑥スリーブ	4

後輪のはずしかた

- 1 車輪の裏側から指で押し、すべての固定用のツメ(フカ所)を外し、左右のD160 ホイールカバーをはずす。
- 2 スナップピンを引き抜きます。(スナップピンは外側のみに付いています)
- 3 外側の車輪を外し、ワッシャーを外します。次に、残った車輪側の車軸先端をもって車軸とワッシャーを引き抜きます。
- 4 引き抜いた車軸をウェスなど乾いた布でふいてきれいにします。

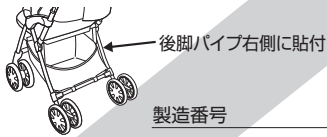


後輪の取り付けかた

はずしかたの逆の手順で取り付けてください。

※スナップピンは車体外側に来るようにとめてください。

保証書

製品名	Combi 施設用ベビーカーSC61	製造番号	
保証期間	納品から正規のご使用下で1年間		
お客さま	お名前		
	ご住所 〒 -	TEL () -	
販売店名			
納品日	年 月 日		

取扱説明書および本体注意書きラベルなどの記載内容に従った正常な使用状態で故障した場合、本書を提示の上、ご購入業者または下記コンビウィズ株式会社にご連絡ください。保証期間内にて無料で修理いたします。

●保証期間中であっても、次の場合は有料修理となります。

- | | |
|--|--|
| ①本来の使用用途以外でのご使用に起因する故障。 | ⑦天災/天変地異(火災、落雷、噴火、洪水、津波、地震)、戦争/暴動等による不具合。 |
| ②適切な維持管理を怠ったことに起因する故障。 | ⑧縫製部品の汚れややぶれ。 |
| ③メーカー、販売元が指定する業者以外の修理・調整・改造に起因する破損・故障。 | ⑨本書に納品日、お客さま名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。 |
| ④保管環境の影響など本製品以外の外部影響に起因する破損・故障。 | ⑩本書のご提示がない場合。 |
| ⑤ご購入後の輸送、落下などに起因する破損・故障。 | ⑪車輪の自然摩耗。 |
| ⑥経年劣化や過酷な使用状況による故障。 | |

●有料修理の際の送料はお客様のご負担となります。

●上記保証は日本国内においてのみ有効です。

●定期点検を実施しなかった場合の不具合は対象外です。

●生産終了後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。

●保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客さまの故障修理についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。

※点検の結果、不具合発生が認められた場合は、上記範囲内での保証とさせていただきます。

SGマークの被害者救済制度

SG マーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。

ベビーカーの場合は、納品日より4年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意

認定した施設用ベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。賠償金は製品安全協会が事故原因・被害の程度などをよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

●SG マーク



Safty Goods

製品安全協会が定めた適合商品

消費生活用製品安全法にもとづいて設立された製品安全協会が「この製品は安全です」ということを認定した場合に、その製品に表示するマークのことです。

●事故の届け出について

被害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でよい）が事故を届け出るときは、事故が発生した日から原則として60日以内に下記の協会まで届けてください。

一般財団法人 製品安全協会

東京都台東区竜泉 2-20-2

ミサワホームズ三ノ輪 2階

<https://www.sg-mark.org/reparation/>

●事故届け出に必要な項目

- 事故の原因となった施設用ベビーカーの現品
 - 製品の名称 製品の販売店名、納品年月日
- 事故発生の状況
 - 事故発生年月日 事故発生場所
 - 事故発生状況
- 被害の状況
 - 被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
 - 被害の状況と程度

●製品に関するお問い合わせ

コンビウィズ株式会社

本社/〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7

URL/www.combiwith.co.jp

●修理・点検に関するお問い合わせ/コンビウィズ(株) サービスセンター

TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630

本マニュアルは、コンビウィズ ホームページ (www.combiwith.co.jp)からもダウンロード(PDF)できます。ご活用のご、お願いいたします。

○本書に記載されている文章イラスト等の無断転載を禁止します。

(B5) 190246130 251201(1)